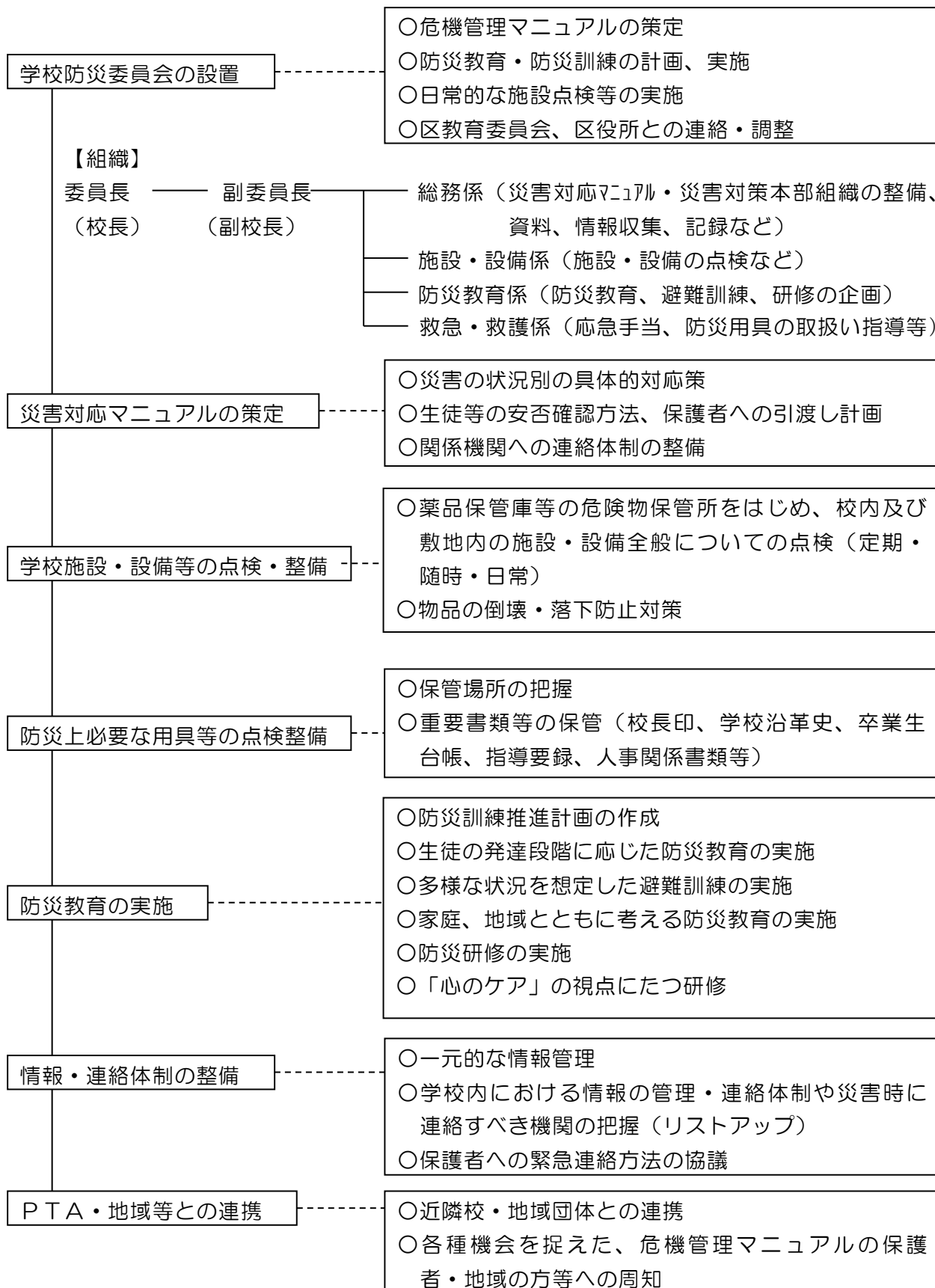
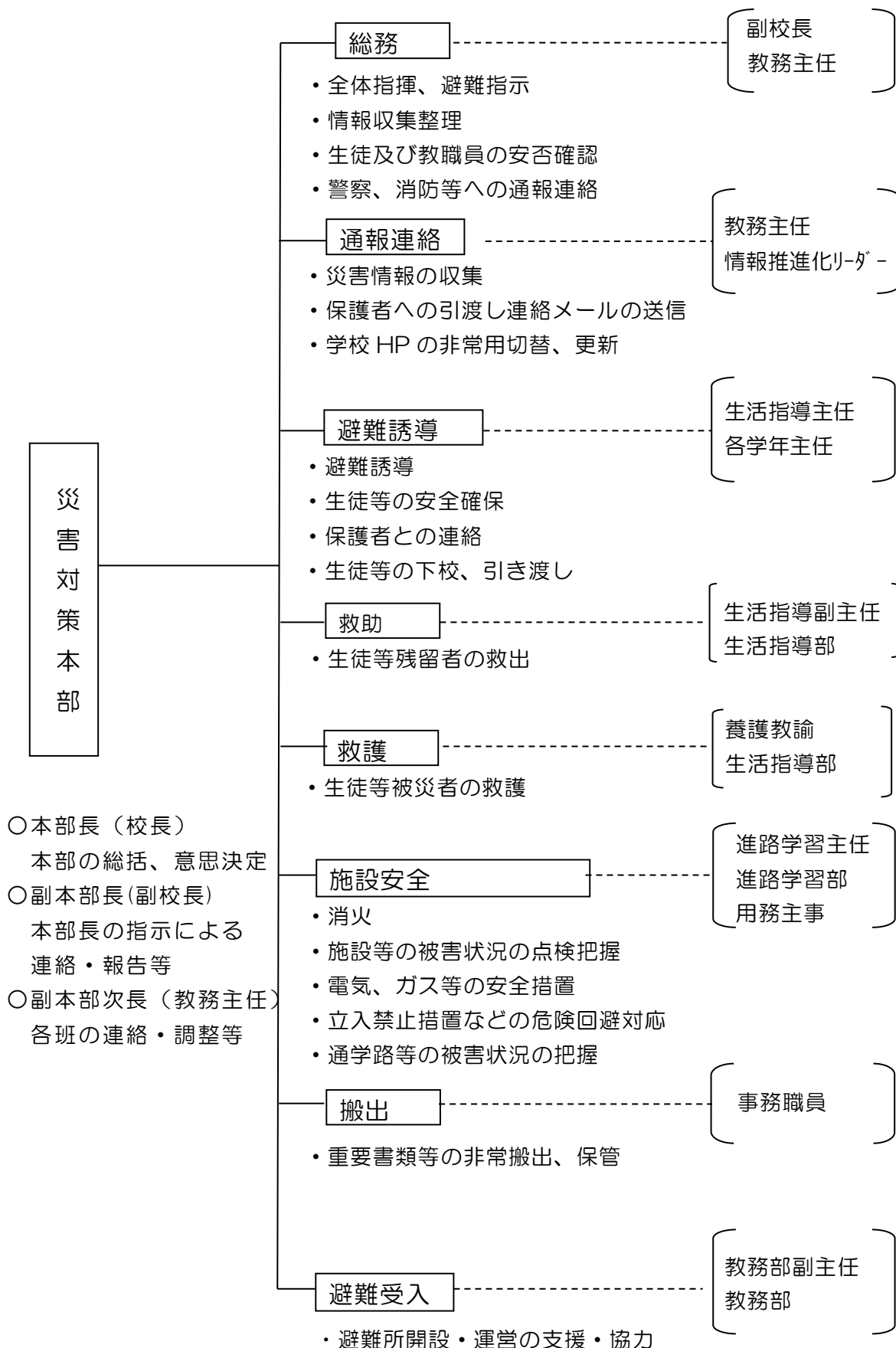


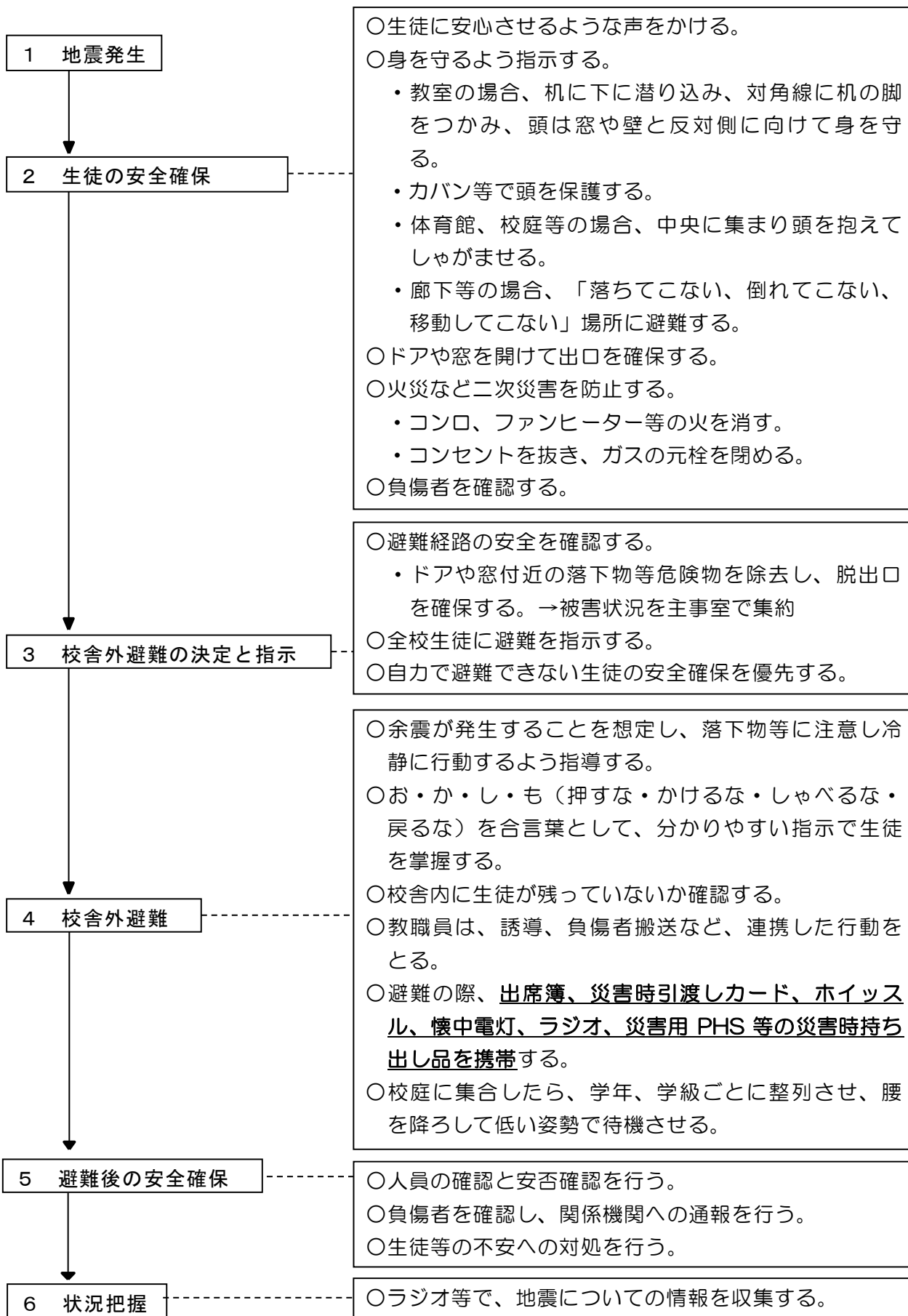
（１） 日常的な学校防災活動



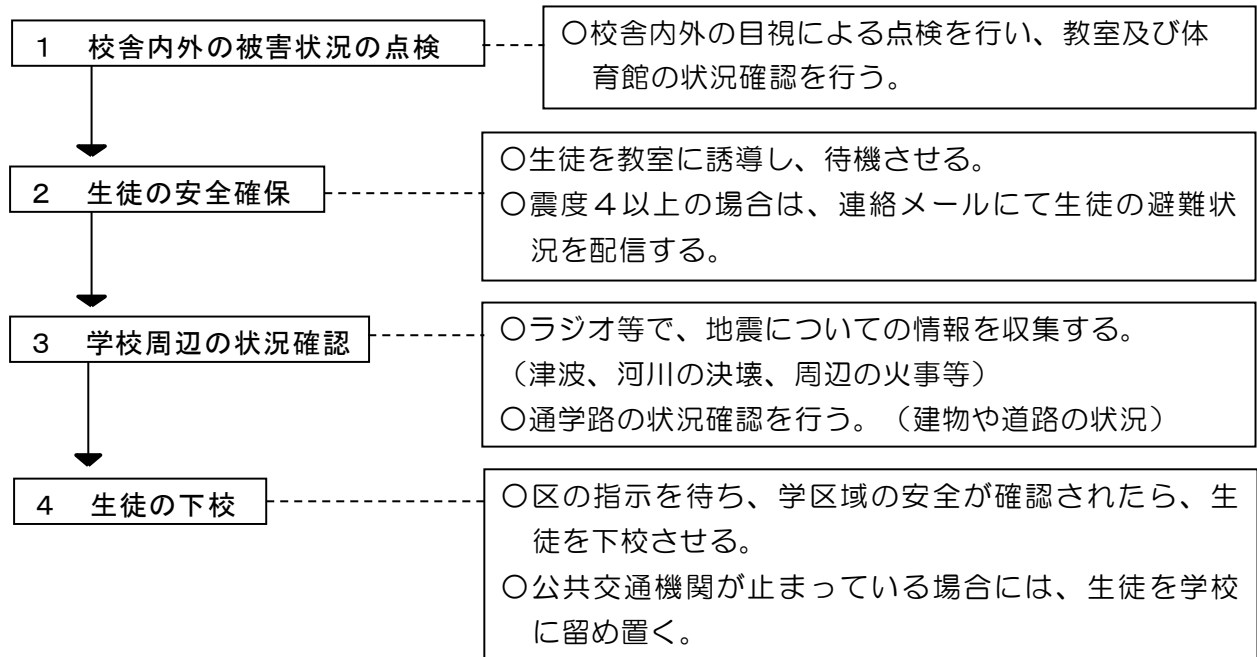
（２）学校災害対策本部組織



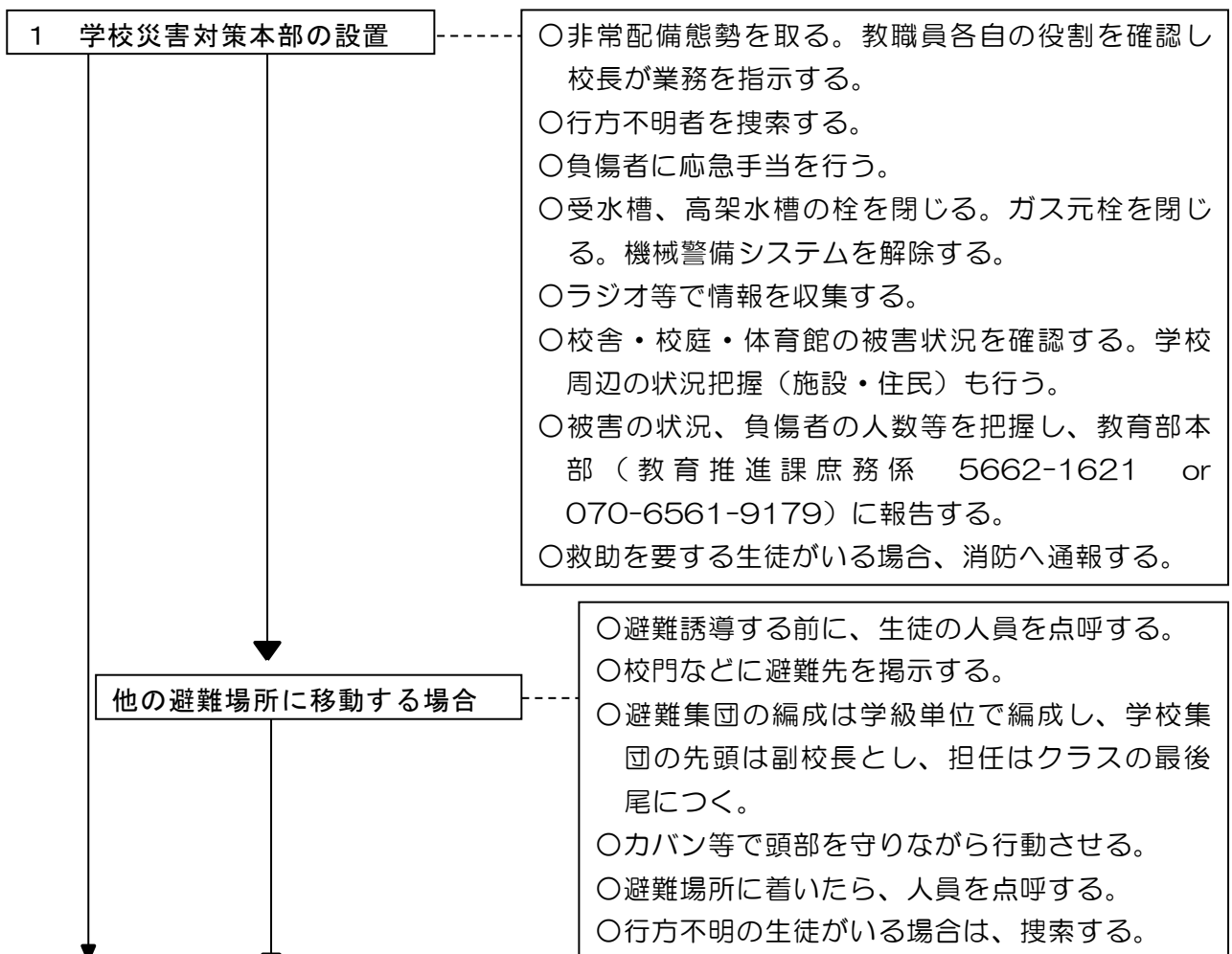
（３）教職員在校時に発災した場合の対応

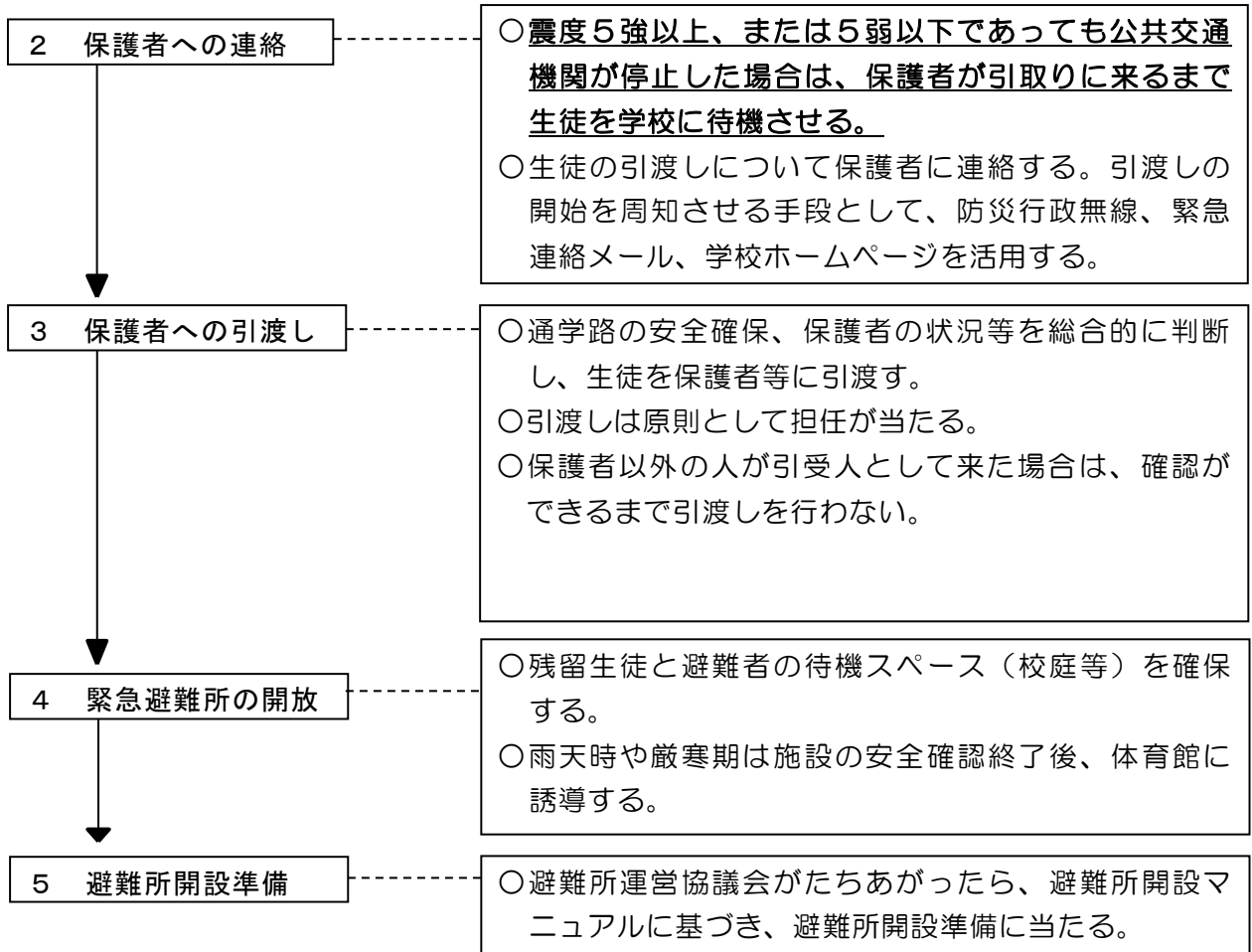


ア：震度5弱（「不安定なものが倒れることがある」程度）以下の場合

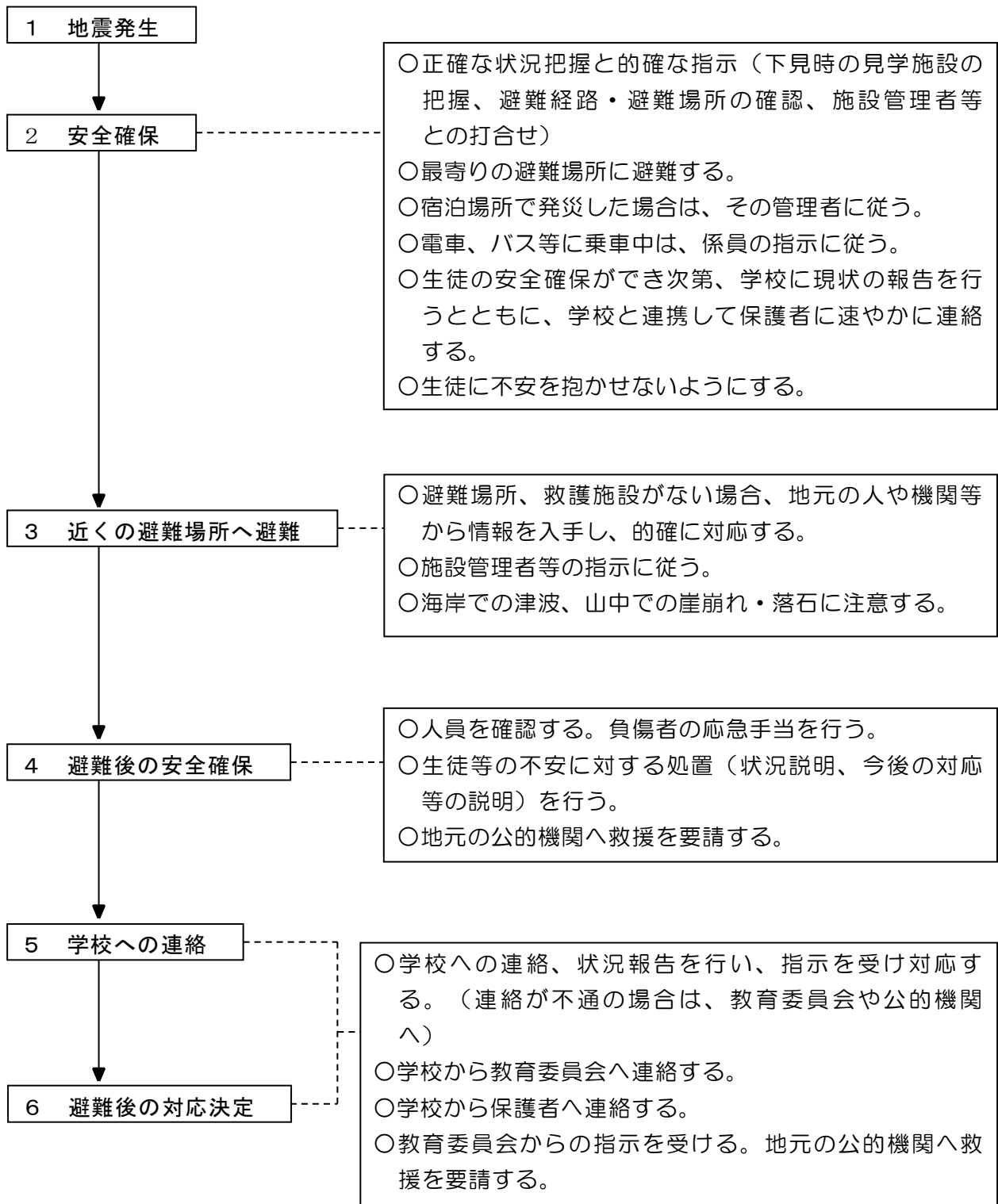


イ：震度5強（「固定していない家具が倒れることがある」程度）以上の場合

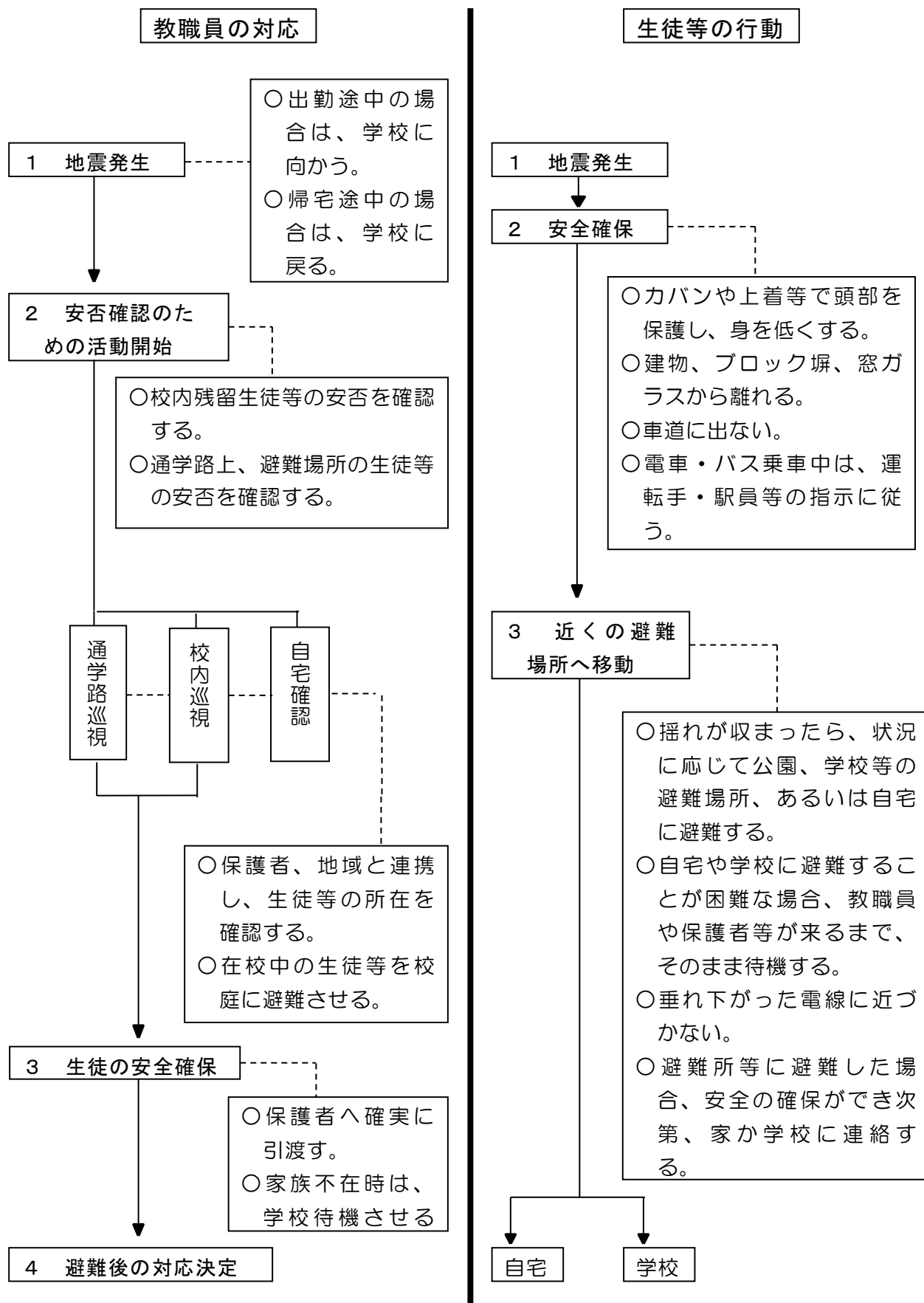




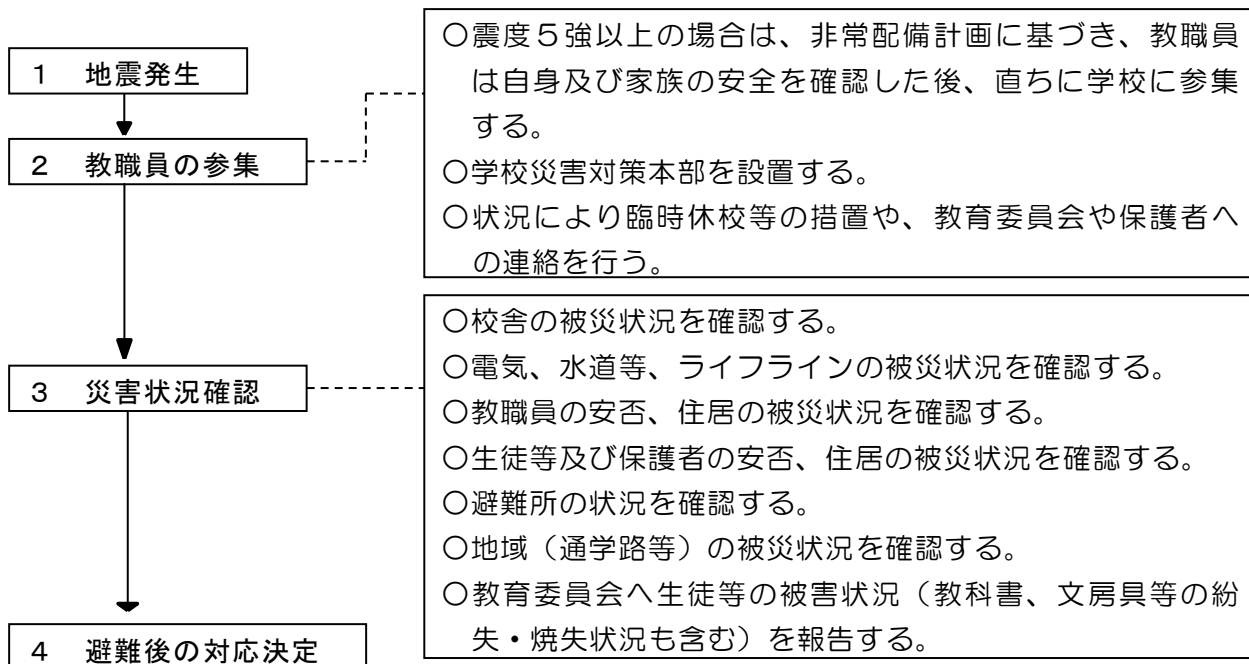
（４）校外活動中に発災した場合の対応



（５） 登下校時に発災した場合の対応



（６）教職員在校時外の対応



（７）学校教職員非常配備計画

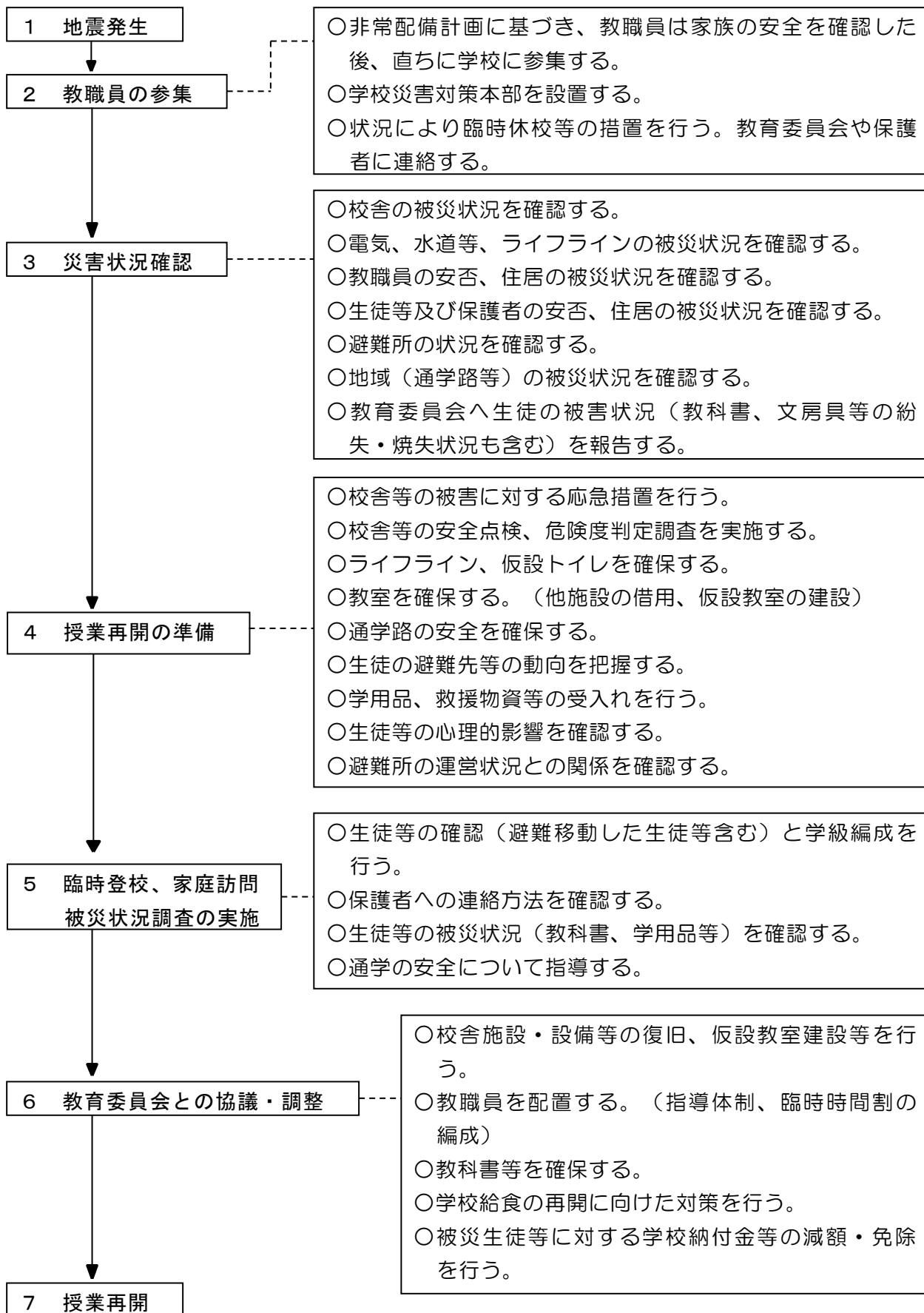
時間の流れ →

地震	勤務時間内 発災	非常配備態勢	平常時の 態勢
	勤務時間外 発災		

震度5強以上で、災害対策本部を設置する。以下のような非常配備態勢を取る。

- ◎ 非常配備態勢(勤務時間内) … 通常業務を縮小(停止)し、応急業務体制に移行
 - [1] 生徒・職員の安否確認及び保護者への引渡し
 - ① 在校する生徒の安全確保
 - ② 外出している生徒の安全確保
 - ③ 教職員の安全確保
 - ④ 保護者への引渡し連絡
 - [2] 被害状況の確認
 - ① 受水槽及び高架水槽のバルブを閉栓
 - ② 建物および施設周辺の状況確認
 - ③ ガス、電気等ライフラインの状況確認
 - ◎ 特別非常配備態勢時は、自主参集し、避難所の設置及び運営に協力
- * 避難所開設・運営については、災害対応マニュアル（避難所開設）参照

（８）授業再開に向けた対応マニュアル



（９）警戒宣言発令時の対応

1 注意情報発令時の対応

- （１）教育委員会は、注意情報発令の連絡を受けたときは、小・中学校に連絡する。
- （２）学校は、授業を学級活動・ホームルーム活動に切り替え、生徒に注意情報が発令された旨を伝える。
- （３）地震に対する注意事項、警戒宣言が発令された場合の対応措置を指導する。

2 警戒宣言が発せられた場合の措置

（１）在校時

- ア 授業を打ち切り、警戒宣言が解除されるまで臨時休業とする。
- イ 生徒は校内で保護する。

（２）校外活動時

- ア 宿泊を伴う校外活動時は、その地の災害対策本部の指示に従うとともに、速やかに学校に連絡する。
- イ 校長は、情報を保護者に連絡する。
- ウ 学校の対応状況を区教育委員会に報告する。
- エ 日帰りの遠足等の場合は、その地の警察、消防等官公署と連絡を取り、状況に応じて即時帰校等の措置をとる。
- オ 交通機関の運行や道路状況によって帰校することが危険と判断された場合は、近くの小学校、中学校に避難するなど適宜必要な措置をとる。
- カ 校外活動が強化地域内の場合は、その地の区市町村と連絡をとり、その地の警戒本部の指示に従う。

（３）登下校時に警戒宣言が発せられた場合

- ア 登下校時に警戒宣言が発せられた場合、生徒は学校や家庭までかかる時間などを考慮し、適切に避難する。
※ 特に教職員の目が届きにくい登下校時においては、生徒一人一人が最も安全と考えられる対応ができるよう、日頃から柔軟に対応することの重要性を指導しておく。

（４）その他の対策

- ア 飲料水、食糧、毛布等を生徒のために準備する。
- イ 生徒に対して、今後の対応を指示、説明する。
- ウ 保護した生徒の人数、保護体制について、教育委員会に報告する。

（５）警戒解除宣言の情報収集

学校は、警戒解除宣言の情報を、区災害対策本部、ラジオ、テレビ等から入手する。

（10）主要連絡先一覧

① 公的機関

区教委指導室	【電話番号】	5662-1634
小松川警察署	【電話番号】	5664-0110
小岩消防署	【電話番号】	3677-0119

② 医療機関

江戸川病院	【電話番号】	3673-1221
篠崎駅前クリニック	【電話番号】	5666-1331

③ 学区内避難所

一次避難所	篠崎第二中学校	【電話番号】	3677-9531
地域拠点	東部事務所	【電話番号】	3679-1123
食品等集積地	東部区民館	【電話番号】	3679-1274
緊急医療救護所	江戸川共済病院	【電話番号】	3679-211

◎ 留意事項

0. 平常時

- (1) 出席簿の表紙の裏に、在籍数を記入した「確認票」を常備しておく。
- (2) 毎日、職員室前の「生徒出欠表」に始業時の出欠状況や、遅刻・早退の状況を記入しておく。

■授業中（教員が指導しているとき）…教員は生徒に適切な指示を与え、避難させる。

1. 避難前

- (1) 緊急放送を良く聞き、避難経路を判断する。
- (2) 「窓をしめ、カーテンを束ねる(開ける)。扉をしめ、電気を消す。」ことを指示する。
- (3) 生徒を廊下に出し、2列に並ばせる。

2. 避難中

- (1) 火事が発生している場合は、ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「お（おさない）、か（かけない）、し（しゃべらない）、も（もどらない）」を守らせて移動させる。
- (2) 階段を降りるときは、上の階のクラスが内側、下の階のクラスが外側を歩く。
(待たせない)

3. 人員確認

- (1) 校舎を背にして、クラスごとに出席番号順に並ばせる。
- (2) 担任(教科担任)が点呼を行い、その場に座らせる。
- (3) 担任(教科担任)は、確認票に不在生徒の数と名前を書いて副校長に報告する。
「〇年〇組、在籍〇名、欠席〇名、現員〇名、異常なし・あり(〇〇が不明)」

*「欠席」とは、その時点での不在生徒のこと。（早退・遅刻・出席停止・忌引等を含む）

<避難完了>

- (4) 担任がクラスにつく。

■休み時間等（教員が指導していないとき）…生徒は自主的に判断して、避難を行う。

1. 避難前

- (1) 緊急放送を良く聞き、避難経路を判断する。
- (2) 近くの窓をしめ、カーテンを束ねる(開ける)。扉をしめ、電気を消す。

2. 避難中

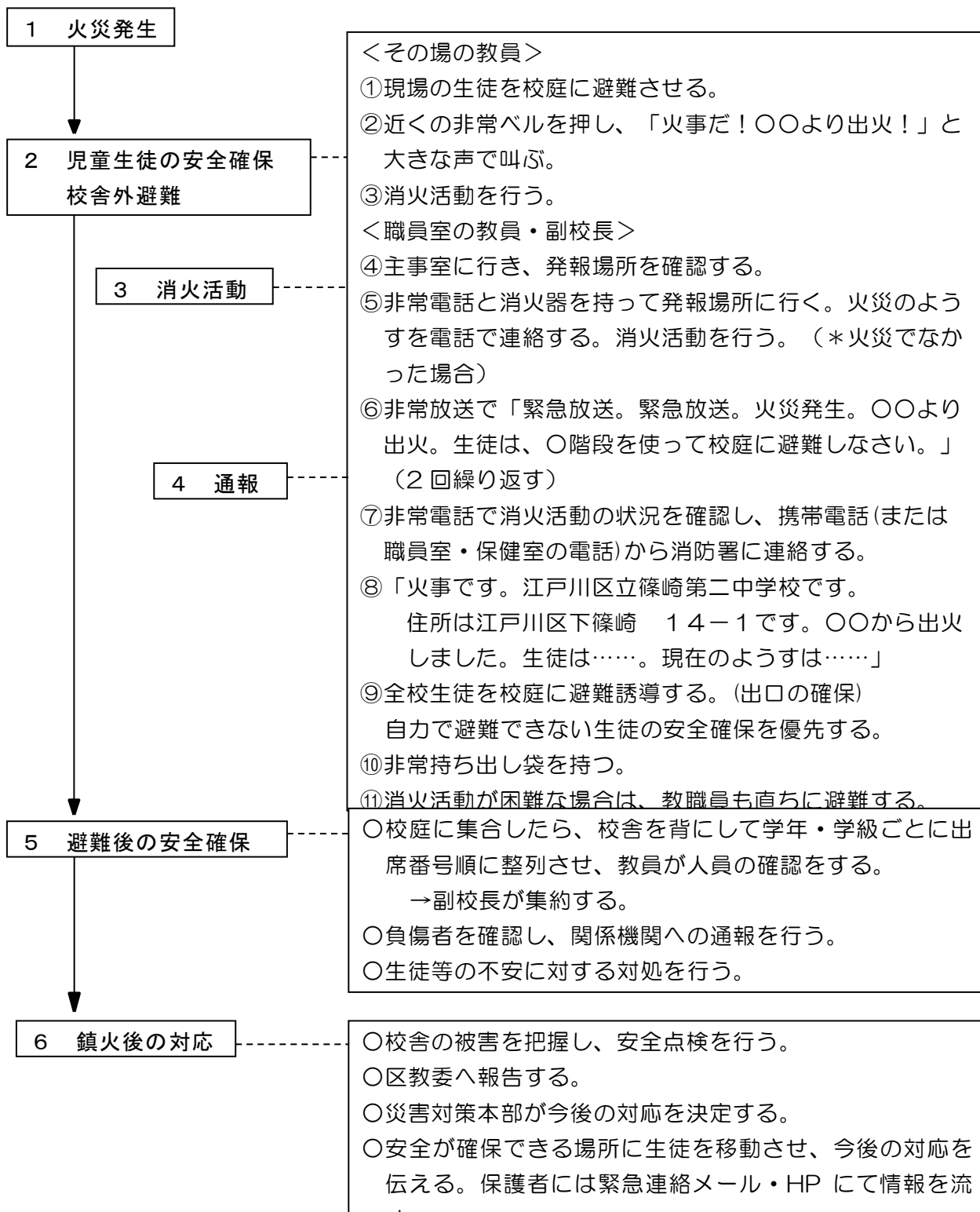
- (1) 火事が発生している場合は、ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「お（おさない）、か（かけない）、し（しゃべらない）、も（もどらない）」を守って、安全な避難経路を通過して移動する。

3. 人員確認

- (1) 校舎を背にして、クラスごとに出席番号順に並び。
- (2) 教員の指示に従って、待機する。

B 火災対応マニュアル

火災発生時の基本的対応要領



*火災でなかった場合

非常ベルが間違っって押された場合には、主事室の警報盤横のマニュアルにより復旧作業を行う。

◎ 留意事項

0. 平常時

（１）出席簿の表紙の裏に、在籍数を記入した「確認票」を常備しておく。

（２）毎日、職員室前の「生徒出欠表」に始業時の出欠状況や、遅刻・早退の状況を記入しておく。

■授業中（教員が指導している時）… 教員は生徒に適切な指示を与え、避難させる。

1. 避難前

（１）緊急放送を良く聞く。出火場所を聞き取り、避難経路を判断する。

（２）**「窓をしめ、カーテンを束ねる(開ける)。扉をしめ、電気を消す。」**ことを指示する。

（３）生徒を廊下に出し、２列に並ばせる。

2. 避難中

（１）ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「お（おさない）、か（かけない）、し（しゃべらない）、も（もどらない）」を守らせて移動させる。

（２）階段を降りるときは、**上の階のクラスが内側、下の階のクラスが外側**を歩く。
(待たせない)

（３）**最後のクラスが避難したら、担当者が防火扉を閉める。**

3. 人員確認

（１）校舎を背にして(火を見せない)、クラスごとに出席番号順に並ばせる。

＊少人数指導の場合もクラスごとに並ばせる。

（２）担任(または教科担任)が、生徒の肩を叩いて点呼を行い、その場にしゃがませる。

（３）担任(または教科担任)は、確認票に不在生徒の数と名前を書いて副校長に報告する。

「〇年〇組、在籍〇名、欠席〇名、現員〇名、異常なし・あり(〇〇が不明)」

＊「欠席」とは、その時点での不在生徒のこと。(欠席・早退・遅刻・公欠を含む)

<避難完了>

（４）担任がクラスにつく。

■休み時間等（教員が指導していない時）… 生徒は自主的に判断して、避難を行う。

1. 避難前

（１）緊急放送を良く聞く。出火場所を聞き取り、避難経路を判断する。

（２）近くの窓をしめ、カーテンを束ねる(開ける)。扉をしめ、電気を消す。

2. 避難中

（１）ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「お（おさない）、か（かけない）、し（しゃべらない）、も（もどらない）」を守って、安全な避難経路を通して移動する。

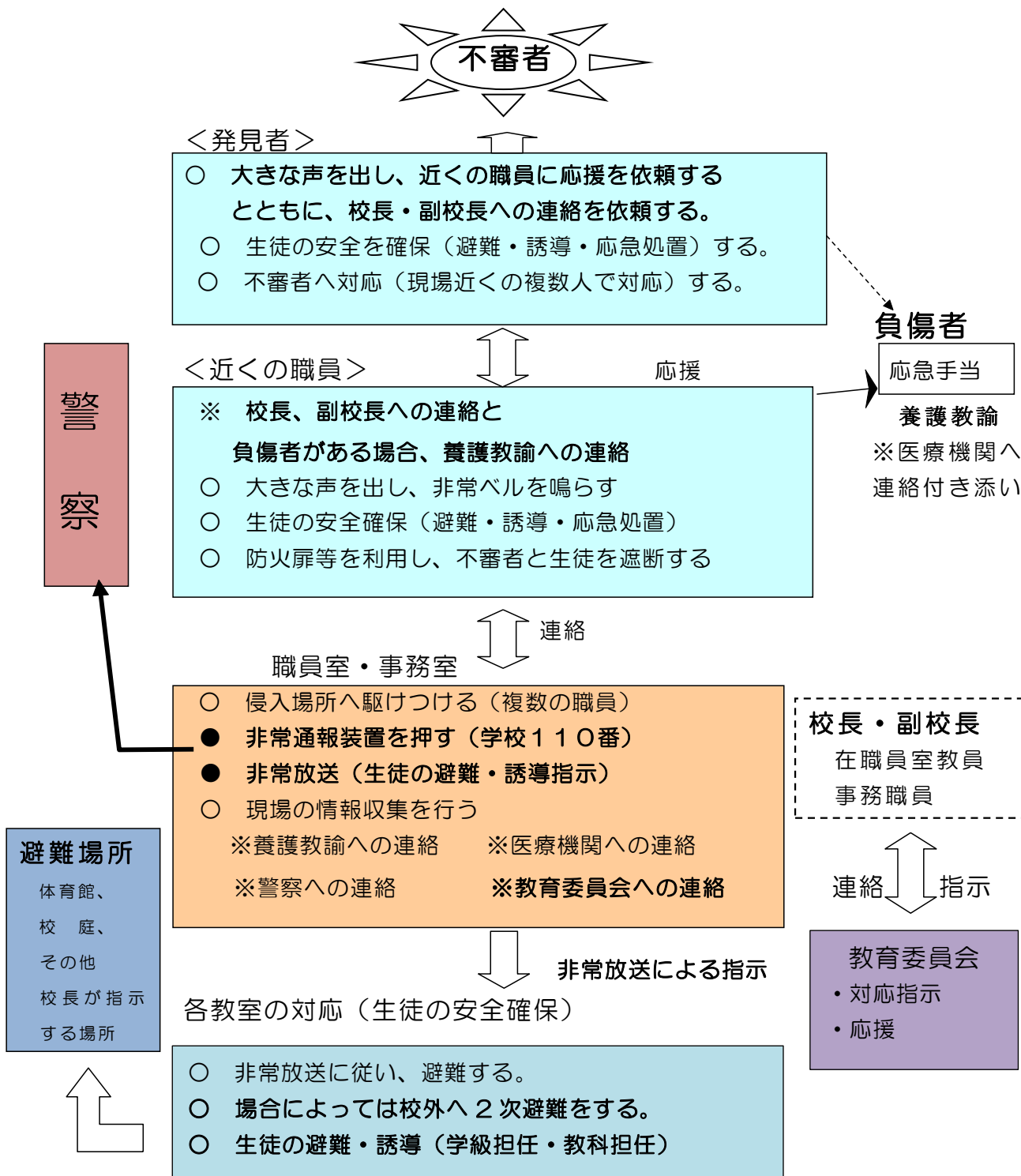
3. 人員確認

（１）校舎を背にして、クラスごとに出席番号順に並び。

（２）教員の指示に従って、待機する。

C 不審者対応マニュアル

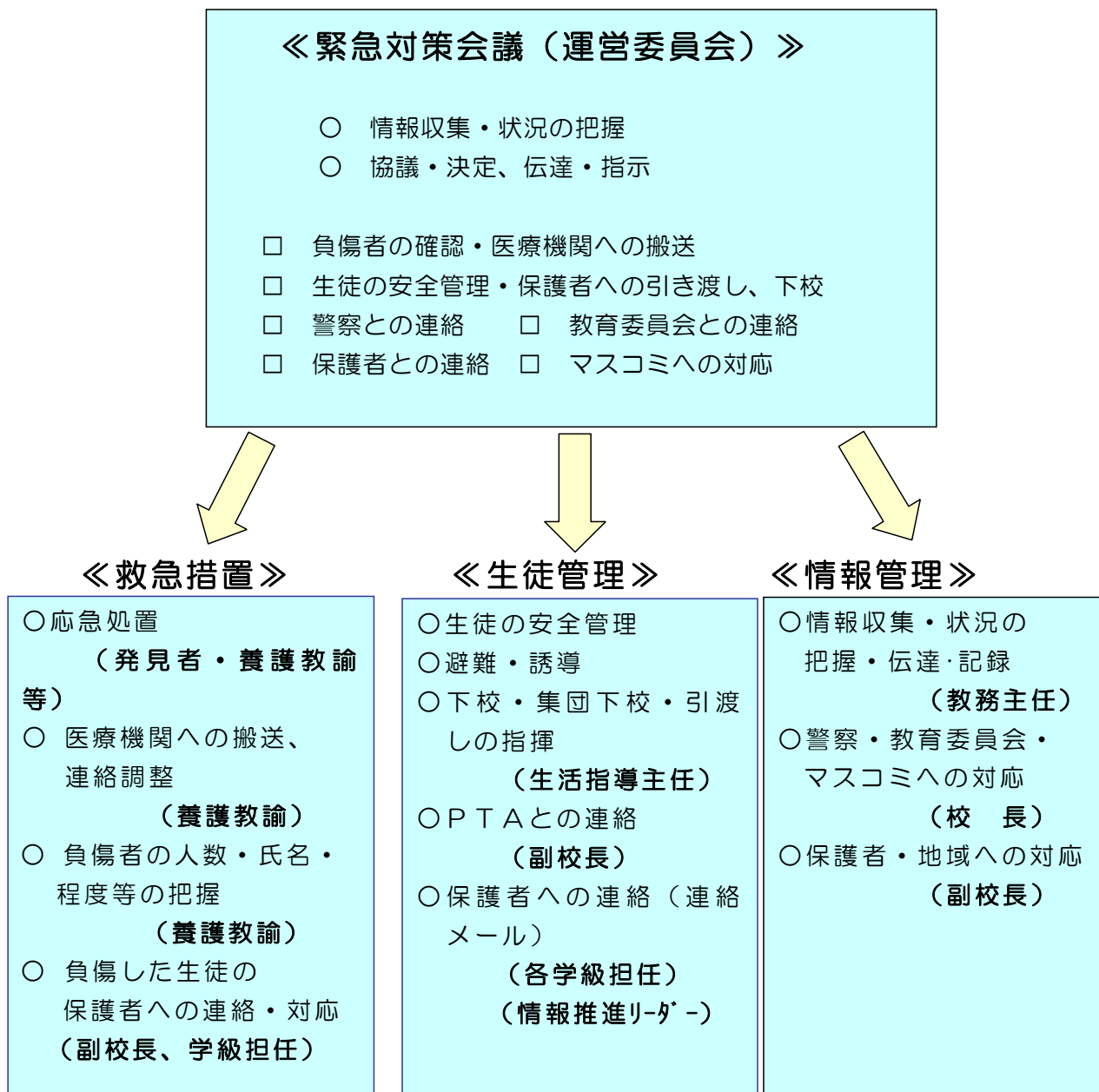
1. 第1次対応（不審者発見時の対応）



※警察への通報

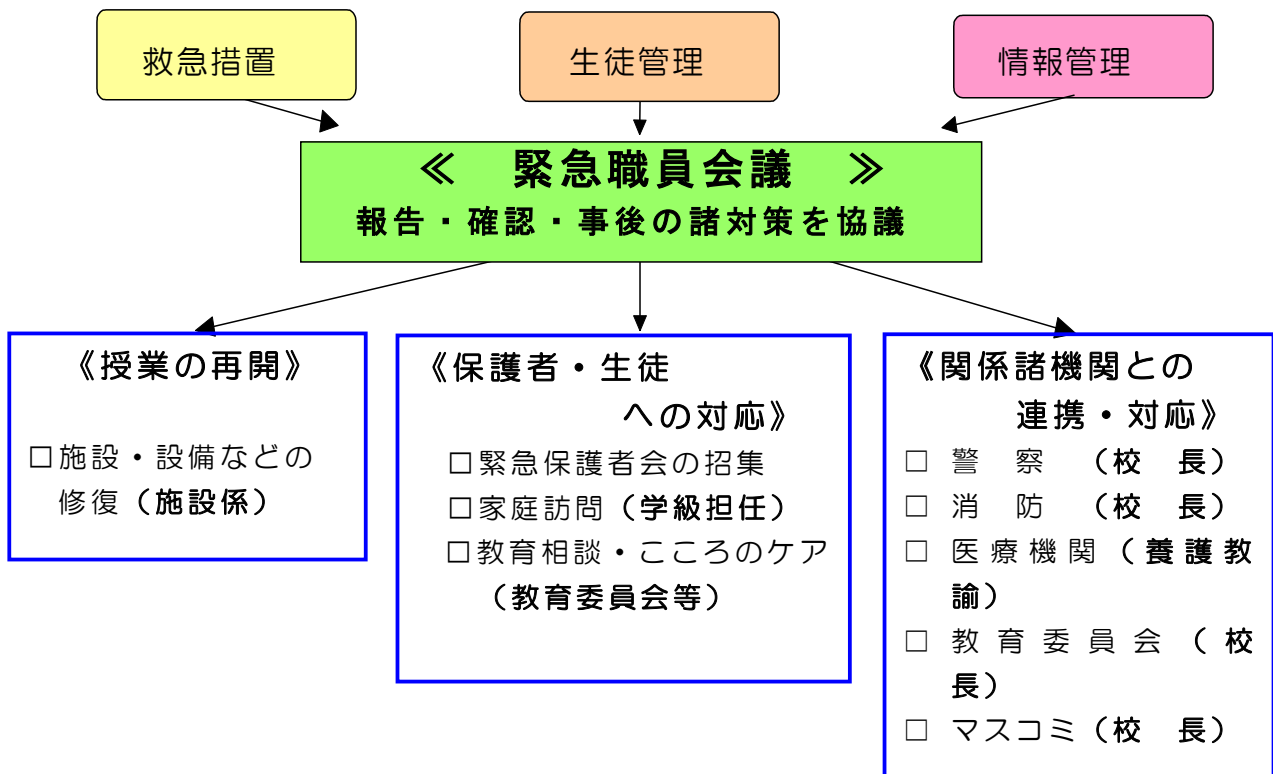
通常は、〇〇警察署に電話連絡を行う。状況により非常通報装置（学校110番）を運用するが、運用に当たっては校長が判断する。

2. 第2次対応（事件直後の対応）



※ 上記の役割について、校長不在の場合の代理者は必ず指定しておく。
また、副校長以下の教職員の役割についても、校長があらかじめ指定しておくものとする。

3. 第3次対応（事件後の対応・措置）



4. 生徒の避難誘導

1 教職員の誘導體制	
副校長（又は主幹）	非常放送（避難場所の指示）
各学級担任・授業担当者	生徒の誘導、安全確保
授業のない教員	校内残留生徒の確認・誘導
2 発見時間及び場所による避難誘導	
授 業 中	学級担任又は授業担当者は、非常放送があった場合、事件発生場所（危険場所）を避けた避難経路を確認し、直ちに生徒を安全な場所へ避難・誘導する。
休 み 時 間	原則として、 <u>学級担任又は次の授業を受け持つ授業担当者</u> は、非常放送により事件が発生した場所を避けた避難経路を確認し、生徒の避難・誘導にあたる。

5. 教職員等の主な役割

※発見者・・・大きな声を出し、近くの職員に応援を求め、複数人で対応。
生徒の安全確保、必要な応急措置、校長・副校長・養護教諭への連絡など。

係	担 当	主 な 役 割
総指揮	校 長	対応方針の決定、校内の総括・指揮、 教育委員会への報告、警察・マスコミ対応等
通 報	副校長	非常放送（避難指示）、関係機関、保護者・PTA等への対応、 校外からの連絡窓口の一本化、事務的な対外折衝等
連 絡	教務主幹	情報収集、状況の把握・記録伝達（副校長を補佐）、 緊急保護者会の企画
避 難 誘 導	生活指導主幹	生徒の避難誘導及び人員確認、安全確保、 下校や集団下校・引渡しの指揮、 状況説明と動揺を防ぐための全校集会の企画
	学級担任	生徒の安全確保・避難誘導、保護者への連絡、 学級の生徒の不安や動揺の解消等
	学年主任	担任への助言、担任不在の学級への援助体制の指示
防 御	副担任	不審者への対応、施設設備の修復、 担任不在の学級への援助、生徒の安全確保
救 護	養護教諭	応急措置、負傷者の状況把握、医療機関への連絡・付添 健康状態の把握、心のケア

6. その他の対応＜緊急時の連絡体制＞

《不審者対応における緊急時の連絡体制の整備》

- 校長は、随時、状況を教育委員会指導室に報告するとともに指示に従う。
- 校長は、教育委員会の指示に基づき、生徒の早期下校や休校等について決定し、保護者に連絡する。
- 負傷者が発生した場合、校長及び教育委員会は誠心誠意をもって対応する。

緊急通報マニュアル

1. 警察を要請する場合（不審者等）

◎「110」または「3674-0110（小松川警察署）」

「不審者が侵入しています。」

「江戸川区立篠崎第二中学校です。」

「住所は江戸川区下篠崎 14-1」

「電話番号は、03-3677-9531」

「目標物は、江戸川区スポーツランドです。」

「状況は_____、不審者の状況は_____、
刃物等は_____、けが人は_____名、

2. 救急車を要請する場合

◎「119」をダイヤルする。

・「こちら消防庁。火事ですか、救急ですか。」

「救急車をお願いします。」

「江戸川区立篠崎第二中学校です。」

「住所は江戸川区下篠崎 14-1です。」

「電話番号は、03-3677-9531です。」

「けが人(病人)は〇年生、男子(女子)〇名」

「症状、けがの状態は_____」

正門を開け、通りに出て、救急車が到着したら案内をする。